



菅谷眼科医院
SUGAYA EYE CLINIC

院内だより

Vol.88

令和8年7月

子どもの近視を抑える『近視管理用眼鏡』

お子様の近視進行を抑える新しい選択肢として「近視管理用眼鏡」が注目されています。現在、HOYA社とニコン・エシロール社の2つのメーカーから、特殊な光学設計で**近視の進行を抑制**する製品が6月中旬から発売されています。

この眼鏡は、近視が進行中のお子様や、ご家族に強度近視の方がいる場合にとくに向いています。なぜ早期に進行を抑える必要があるのでしょうか。実は、強度近視（-6.0D以上）になると、将来的に緑内障や網膜剥離、近視性黄斑症といった重篤な眼疾患の有病率が大幅に上がってしまいます。

つまり、近視管理用眼鏡の使用は、単に見え方を補正するだけでなく、**将来の目の病気を予防するという大切な意味**を持っています。通常的眼鏡とは異なり治療用眼鏡になり、定期的な検査を受けながら、眼鏡メンテナンスを受けながら使用していきます。取扱い可能な眼鏡店でのみ購入が可能になります。

費用はメーカーにより異なりますが、フレーム込みで8-9万円程度になると思います。処方には特別な検査が必要ですので、お子様の近視でお悩みの方は当院までお気軽にご相談ください。

